



「なかよししゅう会」

国神小2年

持田 晴香さん



十一月二十九日金요일に、なかよししゅう会がありました。その中で、わたしのすきなあそびが二つありました。くつとばしとまめはこびです。

くつとばしでは、あんまりくつがとばなかったの、「わはは。」

と、わられちゃいました。わたしも、少しはずかしかったけど、

「えへへ。」

と、わらっちゃいました。

まめはこびでは、わたしは二十四できました。

「なぜはるかちゃんは、そんなにまめはこびが上手なの。」

と言われたので、こんどはてれちゃいました。

「そ、そんなに上手って言われても。」

と思っただけど、

「まつ、上手かな。」

と思いました。うれしかったです。おなじはんのりゅうとくん

は、二十こでした。なので、

「やったね、りゅうちゃん。」

と言ったりもしました。

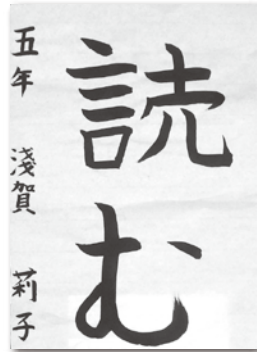
なかよししゅう会は、とつても楽しかったです。時間がなくて、ボウリングに行けなかった

ので、来年は、ぜんぶのあそびに行きたいです。

(評) はるかちゃんのかざらないすなおな気もちがよく書いていますね。

皆野小5年

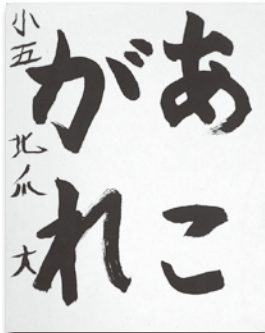
浅賀 莉子さん



(評) 漢字と仮名のバランスに気をつけて、ていねいに書くことができました。

国神小5年

北爪 大さん



(評) 字形を意識して、のびのびとした筆づかいでしっかり書きました。

「ぞうとおさんぽ」

皆野小1年

神沼 桜太さん



(評) どんな色ができるかな？(混色)の勉強をしました。ぐうぜんできたかたちぞうにそっくり。ぞうとおさんぽ、たのしそうですね。

「念仏峠」

皆野中2年

土谷 沙綾さん



(本人のコメント) この作品は、「龍源寺」というお寺を題材にしたものです。男女の悲恋を描いた民話で、その内容を一枚の絵にまとめました。木と屋根の瓦と障子の一枚一枚をこだわりました。